

第七十四回帝國議會
衆議院

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件

委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十四年二月四日(土曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事宇賀 四郎君 理事松本 弘君

理事森 幸太郎君

駒井 重次君

川崎末五郎君

松田 正一君

金澤 正雄君

小見山七十五郎君

加藤 鏖造君

青木 作雄君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

大藏書記官 植木庚子郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)

出)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)

提出)

○板谷委員長 是ヨリ開會致シマス、先般本委員會ニ付託セラレタル海軍工廠資金會計法中改正法律案ニ對スル政府ノ説明ヲ求メマス——松村政務次官

○松村政府委員 本委員會ニ付託セラレタル海軍工廠資金會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テ申上ゲタ通りデアリマスガ、此處ニ更メテ御説明致シマス、

現行ノ海軍工廠資金ハ、海軍工廠資金會計法第二條ノ規定ニ依ル分二千萬圓、及ビ海軍工廠資金臨時補足ニ關スル法律ニ依ル分三千万圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、海軍ノ造船及ビ造兵ノ工廠ニ於ケル事業量ノ激増ニ伴ヒマシテ、海軍工廠資金特別會計ニ於ケル歲入歲出モ亦著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計ヨリ海軍ノ工廠ニ對シ適時的確ニ所要ノ材料物品ヲ供給シ、其ノ本來ノ機能ヲ發揮スルコト頗ル困難トナルニ至ルノ虞アル狀況ナルニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ五千万圓増額シ、其ノ不足額ハ海軍ノ工廠ニ於ケル事業ノ狀況等ニ應ジ、財政ノ許容スル所ニ從ヒマシテ、漸次之ヲ一般會計ヨリ繰入ルルコトト爲スノ必要ガアルノデアリマス、尙ホ昭和十四年度ニ於キマシテ、右ノ一般會計ヨリ繰入ニ代ヘ、支那事變ニ關スル臨時軍事費ヲ以テ購入致シマシタル材料物品ヲ、其ノ價額二千万圓ヲ限度トシ本會計ノ材料物品ニ組入レ、資金ノ増加ニ充テ得ルコトト致シマスル等ノ爲、海軍工廠資金會計法中改正ヲ爲スノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○板谷委員長 此ノ際諸君ニ御諮リ致シタイコトガアリマス、本委員會ニ付託サレテ居リマスル北海道拓殖銀行法中改正法律案ハ、政府ヨリ未ダ參考資料ノ御提出ガアリマセヌカラ、是ハ切離シマシテ後廻シニ致シタイト考ヘテ居リマス、御異議アリマセヌカ

○板谷委員長 尙ホ此ノ際一言申上ゲテ置キマスルガ、本委員會ニハ公債發行ノ重大案件ガ付託サレテ居ルノデアリマス、然ルニ委員ガ如何ニ勉強シタイト思ヒマシテ

付託議案

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
作業會計法中改正法律案(政府提出)
兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)
農業再保險特別會計法案(政府提出)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

モ、政府當局が、或ハ豫算委員會ノ御都合
ガアルカモ存ジマセスケレドモ、割合ニ此
ノ委員會ヲ輕視サレテ居ルト云フコトニ付
テハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌ一言政府側ニ
警告致シテ置キマス

〔同感〕ト呼フ者アリ

○板谷委員長 是ヨリ通告順ニ依ツテ質疑
ヲ許シマス——宇賀四郎君

○宇賀委員 私ハ色々御聽キシタイコトガ
アリマスルガ、大藏大臣ガオ出デニナラス
ト云フカラ、大藏大臣ニ關スル點ダケハ留
保致シマシテ、其ノ外茲ニ一ツ各方面ニ付
テ御示ラ受ケタイ點ヲ、先ヅ申上ゲテ置キ
タイト思フノデアリマス、只今此ノ委員會
ニ付託サレテアル所ノ公債ノ發行額ハ、僅
ニ金額七億九千五百八十萬圓ト云フヤウナ
公債ニナツテ居リマスルガ、併シナガラ昭
和十四年度ニ於テ發行スベキ公債ハ、此ノ
外ニ特別會計ノ分モアリマスルシ、又追ツ
テ軍事費ノ豫算トシテ、一般ニ新聞其ノ他
ニ傳フル所ニ依レバ、近ク五十億乃至六十
億ニ互ル所ノ軍事豫算ガ提出サレ、其ノ中
ノ一部ガ増稅ヲ賄ハレテ、大部分ト云フモ
ノハヤハリ公債ヲ發行スルヨリ致シ方ナイ
ト云フヤウナ狀態ニアリマスルノミナラ
ズ、更ニ此ノ間豫算總會其ノ他ノ御話ヲ承

ツテ居リマスルト云フト、昭和十三年度ニ

於テモ、軍事費ノ追加豫算トシテ十億程度
ノモノガ發行サレルト云フヤウナコトヲ聞イ
テ居リマス、ソレカラ私ハ此處デ少シ自分
デ分リ兼ねタ數字ガゴザイマスルカラ、是
等ヲ大藏省ノ事務當局ノオ方ニ御伺シタイ
ノデアリマスルガ、十三年度ノ年度末マデ
ニ公債ヲ發行スベキ殘額ト云フモノハ、凡
ソ幾ラ殘ツテ居リマセウカ、私ガ調べタ所ニ
依リマスルト云フト、二十七億五千萬圓バカ
リ殘ツテ居ルヤウニ記憶致シマスルガ、是ハ
間違ナイカドウカ、昭和十三年度ノ一般會
計ガ十億何ガシト、特別會計ノ一億六千六
百萬圓、其ノ外軍事費ガ四十四億五千三百
幾萬圓ト云フ數字ガアリマスルシ、サウシ
テ此ノ支那事變ノ十二年度ノ繰越ノ額ガ九
億二千八百萬圓バカリアリマスルカラ、ソ
レヲ全部寄セマスルト云フト、六十五億五
千六百萬圓餘ノ發行額ニナルノデアリマス、
其ノ中一般會計分トシマシテ四億圓、ソレ
カラ此ノ軍事費トシテ三十四億圓、兩方合
セマシテ三十八億圓既ニ發行サレテ居リマ
スルカラ、先程ノ六十五億圓カラ三十八億
圓ヲ引キマスルト云フト、二十七億五千万
幾ラト云フヤウナ數字ニナツテ居リマスル
ガ、是デ間違ナイデセウカ、事務當局ノ御

答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今御尋ノ公債發行殘額
ノ件デアリマスルガ、大體ノ數字ハ私共ノ
記憶デモ今申サレタヤウナコトと思ヒマス
ガ、尙ホ正確ナ數字ハ、間違ガナイヤウニ
後カラ調べマシテ、正確ナ御答ヲ致シタイ
ト思ツテ居リマス

○宇賀委員 ソレデ結構デゴザイマスガ、
サウ致シマスルト云フト、此ノ二月カラ來
年ノ三月ノ三十一日マデニ互ツテ發行スベ
キ公債ノ豫定額ト云フモノハ、大體先ヅ九
十億乃至百億ト云フヤウナ數字ガ出マシテ、
此處ニ今日付託サレテアリマスル所ノ七億
九千五百萬圓ト云フヤウナモノノ十二倍位
ノ數字ガ出ルノデス、私ハ何時カ友人ト話
シタノデアリマスガ、丁度石炭ノ露頭ノ山
ヲ掘ツテ見タナラバ、頭ヘ出テ居ルモノノ
何十倍ト云フモノガ底ニアルト云フヤウナ
譯デ、ソレヲ考ヘテ見マスト、吾々ハ茲ニ
此ノ七億九千五百八十萬圓ノ公債ヲ發行ス
ルノダカラ、是ハモウ唯公債ヲ發行スレバ
宜イト云フダケデハ濟マスベキ問題デハナ
クシテ、中々大キナ問題ガ此處ニアルト云
フコトヲ痛感スルノデアリマス、其ノ他ニ
此ノ内國債ノ現在ノ總額ナド、此ノ間事務
當局カラ書類ヲ貰ツタ所ヲ見マスルニ、十一

年アタリカラ急激ニ増加ヲ致シマシテ、内國
債ノ總額ガ十一年ガ九十億何ガシ、十二年
ガ百五億何ガシ、十三年ガ百四十九億幾ラ、
斯ウ云フ風ニナツテ來マスルシ、ソレノ
一人當リノ額ナドモ調べタモノヲ戴キマシ
タ所ニ依ルト、十年ニハ九十七圓デアツタ
モノガ、十一年ニハ百三圓ニナリ、十二年
ニハ百二十六圓ニナツタ、其ノ利子ノ負擔
モ十年ニ四圓何ガシデアツタモノガ、十一
年ニハ四圓四十錢ニナリ、十二年ニハ五圓
二十錢ニナル、サウ考ヘテ見マスルト、租
稅ノ一人當リノ負擔額モ、其ノ時ニ調べタ
モノヲ戴キマシタガ、ソレト睨合セテ見マ
スルト、半額マデトハ言ハスケレドモ、可
ナリ大キナ部分ガ此ノ公債ノ爲ニ取ラレ
テ居ルノデアリマス、直接稅ト間接稅トヲ
區別シテ見マスルト、間接稅ノ主ナルモノ
ハ公債費ニ全部充當シテモ、ヤウ／＼デア
ルト云フヤウナ數字ガ出テ來ルノデアリマス、
ソレカラ又一般歳出豫算ノ中ノ國債費ノ占
ムル割合ヲ調べテ見マスルト、是亦中々大キ
ナ數字ガ出テ來マスルノデ、十一年度ハ三億
八千三百萬圓、ソレカラ十二年ガ四億何ガシ
十三年度ガ五億一千三百萬圓、十四年度ガ
七億六千萬圓ト云フヤウナ飛躍的ノ増加ヲ
告ゲテ、他ノ行政費並ニ軍事費其ノ他ノモ

ノト比ベマシテモ、十四年度ニ至リマシテハ可ナリ大キナ數字ニナツテ居リマス、ソレデ今又茲ニ百億ノ公債ヲ發行スルト云フヤウナコトニナツテ來マシテ、而モ是ガ現在ノ戰爭ガ續ク限り公債ノ發行ハ已ムヲ得ザルモノデアルト云フコトニナリマスルト、餘程大キナ増稅デモシナケレバ、税金ノ多クノモノハ、恐ラクハ公債費ノ爲ニ食ハレテシマフデヤナイカト云フヤウナ心配ガ起ツテ來ルノデアリマスルガ、大藏當局ハ此ノ昭和十四年度ニ十五年位ノ先ノ國債費ト、ソレカラ税金トノ比率ニ付テ、ドンナ御考ヲ持ツテ居リマスルカ、私ハ洵ニ率直ナコトヲ申シテ相濟マヌケレドモ、國債ノ利子ダケヲ賄フ程度ノ増稅ヲ爲スツタノデハ、是ハ戰爭中ダカラ已ムヲ得ナイト言フカモ知レマセヌガ、税金ハ殆ド國債ノ方ニ取ラレテシマフト云フヤウナ財政デハ、甚ダ寒心ニ堪ヘナイノデアリマスルガ、モウ少シ思切ツテ政府ハ大キナ増稅案ヲ出スヤウナ御心持ヲ持ツテ居リマスルカドウカ、其ノ點ヲ一應御伺致シタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今國債ノコトニ付キマシテ詳シク御質疑ガアリマシタ、百億位ニ達シハシナイカト云フ御示シデアリマシタガ、國債ノ發行狀態ハ、御承知ノ通りニ昭

和十二年度ニ於キマシテモ、政府ノ發行豫定額ハ發行セザル分ガ十億餘リモアリマシタ、十三年度ニドレダケ發行サレテ、アトドレダケ殘ルカト云フ問題ハ、今後三箇月モアリマスルノデ、的確ニハ申上ガ兼ネマヌガ、過去ノ情勢カラ見マシテモ、豫定額全部ガ發行サレルモノデモアリマセヌノデ、隨テ昭和十四年度ニ於テ百億ノ公債ガ出ルト云フ前提ノ下ニ考ヘルコトハ如何カト思ヒマスガ、兎ニモ角ニモ今日マデノ公債發行ノ狀態ハ、比較的順調ニ參リマシタコトハ、既ニ度々本會議、委員會等ニ於テ大臣カラ御説明申上ゲタ通りデアリマス、八割七分五厘ト云フヤウナ消化モ出來テ居リマス、殊ニ幸ニ本年度ニ入リマシテ、一月ノ公債ノ實行ハ非常ニ順調デアリマスノデ、左様ナコトヲ以テ樂觀ハ致シ兼ネマスルガ、今日マデハ大體ニ於テ公債ノ發行消化ガ順調ニ來ツタト言ウテモ差支ナイト思ヒマス、唯將來ノコトニ付キマシテハ、益、其ノ額ガ増加致シマスノデ、之ニ對シテ對策ヲ講ジナケレバナラスコトハ言フヲ俟チマセヌ、隨テ發行豫定額ノ増加ト共ニ、是ガ消化ノ方法ニ付キマシテハ、萬遺漏ナイコトヲ期スル覺悟ヲ以テ善處シツツアルノデアリマス、所デ今ノ税金ガ、一方デハ斯ウ

云フ程度ノ増稅デハイカスノデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、昨日モ分科會デ大臣カラ御説明申上ゲマシタ通り、本年度ノ増稅ハマダ出マセヌ、是カラ出マスルガ、其ノ増稅ノ額ハ大體ニ於テ公債ノ利子ヲ賄フト云フコトニナツテ居リマス、利子ヲ賄フ爲ニ増稅ヲスルノデハナイガ、偶、増稅ノ額ガ利子ヲ賄フ程度ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、今ノ御話デハ、モット思切ツタ大増稅ヲシタラドウカ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、事情ガ許シマヌナラバ、大増稅ヲスルコトモ必要デアラウトハ考ヘテ居リマスケレドモ、現在大藏省ト致シマシテハ、今後如何ナル大増稅ヲスルカト云フコトニ付キマシテハ、調査中デモアリマスルノデ、必ズ大増稅ヲスル方ガ宜カラウト云フコトモ、又ソレハサウ云フ譯ニハ行カヌト云フヤウナコトモ、茲ニ的確ニ申上ゲ兼ネマスガ、御趣旨ノ程ハ體シマシテ、折角調査ヲ進メタイト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 必ズシモ豫定通りノ公債ヲ發行スルコトニハナツテ居ナイ、成程昭和十二年度ノ一般會計、特別會計ノ中デ、ヤハリ租稅ノ收入其ノ他ノ爲ニ公債ノ發行額ガ少ナカツタ、ソレカラ又支那事變公債ヲモ

二十四億ノ中デ十五億發行シテ、アトノ分ハ次ニ繰越シマシタ、今年モ亦一般會計並ニ特別會計ノ十三年度分ト云フモノモ、四億シカ發行致サナカツタト云フ譯デ、アトノ分ハ二月、三月ト二箇月アルカラ、幾ラ發行スルカ分ラヌケレドモ、必ズシモ發行シナクテモ宜イノダト云フ、是ハ國家ノ歲入ガ増加シテ、不足ヲ公債デ發行スルト云フ建前ガ發行セズニ濟ムナラ、國家ノ爲ニ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマスルガ、是ハ要スルニ一般會計、特別會計ニ屬スル部分ヲ指スノデアツテ、恐ラク軍事費豫算ト云フモノハ、大體豫定額ハ發行シナケレバ——成程今年ノ中ニ發行シナケレバナラナクナリハシナイカモ知レナイケレドモ、ヤハリ來年度ニ於テ公債ヲ發行シナケレバナラナイヤウニナリハセヌカト思ヒマスルガ、其ノ點ハ如何ナモノデセウ

○松村政府委員 豫算ニ組ミマシタコトデアリマスルカラ、無論軍ノ事情ニ應ジテ豫定額ヲ發行スル順序ニナラウト考ヘテ居リマスガ、申上ゲルマデモナク、支那事變ノ軍事費ハ各年度ヲ分ケズニ、初メカラ終リマデヲ一ツノ會計年度ト致シテ居リマスルヤウナ事情モアリ、且ツ軍ノ作戰ノ進展ニモ伴ヒマシテ、又財界ノ事情モ考慮致シマ

第二十四億ノ中デ十五億發行シテ、アトノ分ハ次ニ繰越シマシタ、今年モ亦一般會計並ニ特別會計ノ十三年度分ト云フモノモ、四億シカ發行致サナカツタト云フ譯デ、アトノ分ハ二月、三月ト二箇月アルカラ、幾ラ發行スルカ分ラヌケレドモ、必ズシモ發行シナクテモ宜イノダト云フ、是ハ國家ノ歲入ガ増加シテ、不足ヲ公債デ發行スルト云フ建前ガ發行セズニ濟ムナラ、國家ノ爲ニ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマスルガ、是ハ要スルニ一般會計、特別會計ニ屬スル部分ヲ指スノデアツテ、恐ラク軍事費豫算ト云フモノハ、大體豫定額ハ發行シナケレバ——成程今年ノ中ニ發行シナケレバナラナクナリハシナイカモ知レナイケレドモ、ヤハリ來年度ニ於テ公債ヲ發行シナケレバナラナイヤウニナリハセヌカト思ヒマスルガ、其ノ點ハ如何ナモノデセウ

シテ、公債ノ消化ニハ萬遺漏ナカラシムコトヲ期スル爲ニ、今マデ豫定シテ居リマスルモノハ、何時ソレガ發行サレカト云フヤウナコトモ、的確ニハ事前ニ申上テ兼ネルノデアリマス、要ハ軍ノ作戰ノ進行ト公債消化ノ狀態ナドヲ見合セテ、適宜ニ發行ヲ進メルコトト考ヘマスルノデ、今マデ出テ居リマスモノハ、全部昭和十四年度ニ必ズソレヲ發行セラルベキモノダト斷言致シ兼ネマスガ、併シ性質上ハ左様ニ考ヘテ差支ナイト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 是ハ是レ以上押問答シテモ、戦局ノ發展如何ニ依ルトカ、或ハ必要ニ應ジテト云フヤウナコトデアリマス、固ヨリ公債ト云フモノハ豫定ヲ立テテモ、事實必要ニ應ジテヤルノデアルカラ、水掛論ニナリハセヌカト思ヒマスガ、併シ大體不必要ナモノヲ計上スルコトモアルマイト思ヒマスカラ、私共ガ今日ノ狀態カラ見レバ、先ヅ此ノ軍事費ニ付テハ少クトモ八割カラ九割マデハヤリ發行サレルモノト見テ、諸般ノ對策ヲ考究スルノガ穩當ナコトヂヤナイカト思ツテ居リマス、併シ是レ以上ハ議論ニナリマスカラ止メテ置キマス、次ニ公債ノ發行シタ額、是ハ大藏省ノ方カラ表ヲ戴イテ居リマスルガ、十三年一月カラ十二月マ

デニ四十三億何ガシト云フモノヲ發行致シマシテ、其ノ中日本銀行デ三十二億何ガシ引受ケ、預金部デ六億五千、郵便局賣出ガ四億五千何ガシト云フコトデ、而モソレガ非常ニ消化ガ宜シクシテ、八十何「パーセント」ト云フ消化歩合デアルト云フヤウナ發表モアリマス、私共ハ公債ガ斯ウ賣レ行クコトハ、大藏當局ノ御苦心ノアル所モ窺ハレマシテ、洵ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマスルガ、如何ナル所ニ公債ガ持タレテ居ルカト云フコトヲ見ルニ、是モヤハリ「昭和六年以降各年末ニ於ケル國債所有者別調」ト云フモノヲ戴イテ居リマスガ、之ヲ見ルト、誰ガ一番公債ヲ持ツテ居ルカト云ヘバ、政府ガ一番公債ヲ澤山持ツテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、其ノ次ニハ普通銀行ガ公債ヲ澤山持ツテ居ル、其ノ次ニハ政府關係ノ共済組合、地方公共團體、特殊銀行、貯蓄銀行、保險會社、信託會社、斯ウ云フ風ナモノヲ竝ベテアリマシテ、其ノ終リニ其ノ他トシテ残りノモノヲ全部掲ゲテアリマス、是ハ恐ラク個人ノ所有ガ大部分ヲ占メテ居ルダラウト思ハレマスルガ、斯ウ云フ政府トカ金融機關關係ノ所有デハナクシテ、其ノ他ト云フ欄ノ増加率ガ、外ノ所有者別ノ増加率ニ對シテ、其ノ増加ノ有様ガ非常

ニ遲タトシテ居ルノデアリマス、ソレハ餘リ前ノ方ヲ言フノモドウカト思ヒマスルガ、戴イタ表ヲ讀ンデ見ルト、昭和八年ニ二十一億ノモノガ、昭和九年ニハ二十二億ニナリ、十年末ニ二十二億、十一年末ニ二十三億ニナリ、十二年末ニ二十四億、漸ク十三年六月末ニ至ツテ二十六億八千萬圓、斯ウ云フ風ニ増加シテ居ル、此ノ方ノ増加率ト云フモノハ、殆ド言フニ足ラザルモノデゴザイマス、然ルニ政府ノ所有公債ハ、八年頃ハ十六億シカナカツタノガ、十九億ニナリ、二十二億ニナリ、二十四億ニナリ、十二年ニハ三十億ニナリ、十三年ノ六月ニハ三十六億何ガシト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、普通銀行ノ増加ノ率ハ初メノ方ハ餘リアリマセス、是ハ表ニ書イテアル通りデスカラ、唯表ヲ讀上ゲルダケデ甚ダ恐縮デスガ、十年末ニ二十二億ノ普通銀行ノ所有ガ、十一年末ニハ二十五億ニナリ、十二年末モ二十五億、是ハチツトモ増加シテ居リマセスガ、十三年ノ六月ニハ三十一億、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレカラ特殊銀行モ、是ハ日本銀行ヲ含シテ居リマスガ、十年ガ九億、十一年ガ十億、十二年ガ十六億九千萬圓、十三年ノ六月ガ十九億、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、先程申

シタ通り、成程公債ヲ發行シテ賣レタ額ガ八六%アルトカ、或ハ日本銀行ノ引受ケタモノガ八三%何ガシ、能ク賣レテ居ルト言ツテ居ルガ、一面ニ私共ガ知ラナイ所ノ、今政務次官ガ仰シヤツタ通り、一月ニナツテ郵便貯金ノ額ガ非常ニ殖エテ居ル、隨テ預金部ノ資力ガ増加スル、ソレガ政府所有ノ公債ニ當然影響ヲシテ來ル、斯ウ云フ風ニ見マスルト、如何ニモ政府關係ガ非常ニ大キクナツテ、普通銀行ナント云フモノガ、其ノ割ニ増加シテ居ナイノデアリマス、殊ニ一番貴ブベキ所ノ、斯ウ云フ金融機關以外ノ、普通ノ所有者ノ公債所有ガ、サツパリ増加シテ居ナイヤウナ傾向ガアリマスルガ、是デ果シテ公債ガ洵ニ旨ク消化シタト云フコトノ御説明ノ一端ニナルダラウカ、其ノ點政府ノ御所見ヲ承リタイト思ツテ居リマス

○松村政府委員 只今公債所有者分布ノコトニ付キマシテ細カク御質疑ガゴザイマシタガ、今マデノ日本ノ公債ノ所有ノ分布狀態ハ、決シテ満足ナル狀態トハ申兼ネマス、今御話ノヤウナ公衆其ノ他ニ對スル分布ガ少イコトハ事實デアリマスガ、從來公債ノ額モソレ程多クナカツタノデ、公債消化普及ニ關スル方法其ノ他ニ付テ、尙ホ足ラザ

ル所ガアツタヤウニモ考ヘラレマス、併シ支那事變公債以來郵便局ノ窓口其ノ他各般ノ施設ヲ講ジマシテ、公債ノ分布普及ニ付キマシテハ有ニル方法ヲ講ジテ居リマス、尙ホ其ノ他ニ考究スベキ、又實施サレ得ル見込ノ方法モアルト考ヘテ居リマスルノデ、

是等ノコトニ付キマシテハ、大藏省其ノ他ニ於キマシテモ、出來ルダケ速ニ此ノ分布ノ普及ヲ圖リタイト努力致シテ居リマス、ソコデ先程私ガ申上デマシタ一月ニナツテ公債ガ非常ニ賣レルト云フノハ、郵便局ノ賣出等ヲ指シタノデアリマセヌデ、日本銀行ヲ通ジテ一般普通銀行其ノ他ノ賣出ガ、非常ニ良好デアルト云フコトヲ申上デマシタ、其ノ他ニ只今御話ノヤウニ郵便貯金ガ殖エ、サウ云フ方面ノ状態ハ、是ハ預金部其ノ他ノ關係ノコトデアリマス、私ノ先程申シマシタコトハ、日本銀行カラノ公債ノ賣行ガ殖エタ、ソレガ重ツテ只今御話ノヤウニ預金部其ノ他ノ金ガ非常ニ殖エテ居リマスノデ、其ノ方面デ將來尙ホ公債ヲ引受ケル可能性ガ益殖エツアルコトハ、此ノ際非常ニ喜ブベキコトデアルト云フ、二ツノコトヲ併セテ申上ゲレバ、其ノ間ノコトハ一層明瞭ニナルト考ヘテ居リマス、尙ホ公債分布普及ノコトニ付キマシテハ、只今申シマ

シタヤウナ方法ガ多少アルト思ヒマスノデ、出來ル限り調査ヲ進メマシテ、萬遺漏ナキヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 先程ノハ私ノ誤解デアリマシタ、日本銀行ノ手持ノ公債ガ大變一月ニ賣レタト云フコトデアリマシタ、ソレハ洵ニ結構デス、日本銀行ノ公債ハ十三年ノ末ニハ十六億三千四百餘萬圓手持ノヤウナ風ニ、御調ニ依ツテ見ルトナツテ居リマシタ、本年モ一月ニ至リマシテ、又茲ニ四億圓ノ公債ヲ發行致シマシタ、其ノ發行ノ細カイコトハ私ハ今記憶ハアリマセヌガ、四億、假ニ日本銀行ガ全部引受ケタモノト致シマスルト、二十億ノ公債ガアル、其ノ中ノドノ位一月中ニ御賣リニナツタノデアリマセウカ、御分リニナツテ居ル點ダケヲ御話願ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今私ノ手許ニ數字ハアリマセヌガ、私ノ記憶ニ間違ナケレバ、一月ニ入りマシテカラ五億以上賣レテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマス、唯數日前日本銀行ノ所有公債ハ、日本銀行週報尻デハ十六億何ガシニナツテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマス

○宇賀委員 サウスルト必ズシモ差額ガ賣レタト云フ譯デハナクシテ、買戻ナドモ數

ガアルカラ、十三年末ト今ト公債ノ手持ガ釘付ニナツテ居ルノデセウカ

○松村政府委員 其ノ外一月ニナリマシテ普通公債ノ外ニ、米穀證券ガ非常ニ良好ナ賣行ヲ示シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス

○宇賀委員 尙ホ續イテ私ハ公債發行ノ泉源ヲ成ス所ノ國民所得ト云フコトニ付テ、少シ御伺致シタイノデアリマスルガ、私共國民所得ト云フモノハ、一體日本國民ハ全部デ、何百億圓アルモノデアアルカト云フコトヲ屢々人ニモ聽カレ、自分デモ考ヘテ見マシタガ、大正五年デシタカノ内閣統計局ノ國民所得ノ調査ガアルダケデ、其ノ他ハ時々イヤ昭和十二年ハ百六十億トカ、十三年ハ百八十億、二百億、二百二十億ト云フヤウナコトガ、チヨイ／＼新聞ニ出テ居ルガ、何等別ニ大シタ基礎モナク、且又責任アル者ノ調査ニ依ツテ成ツタモノデハナイヤウニ思ハレマス、唯何時カ、十月半バ頃デシタカ、大藏省ノ國民貯蓄獎勵局デ、年八十億ノ貯蓄運動ト云フモノヲ前大藏大臣ノ賀屋サンガ始メマシテ、ソレデ大分中央聯盟其ノ他ト連絡ヲ取ツテ一大國民運動ヲナスツタ、ソレト同時ニ國民貯蓄獎勵局デ色々ナ數字ヲ集メマシテ、大體一月カラ

八月末マデニ於テ總テノ貯蓄ガ四十七億圓アル、是カラ見マスルト、前年ノ十二年度一箇年ヲ通ジテ四十七億二千百萬圓シカナカツタモノガ、十三年ニ至ツテハ色々ナ事情ガアリマシテ、或ハ又大藏省ノ獎勵其ノ他モ加ハリマシテ、サウシテ一月カラ八月マデ四十七億四千四百萬圓出來タト云フヤ

ウナ新聞記事ヲ見タノデアリマスガ、其ノ後一體一月カラ十二月マデノ貯蓄獎勵ノ結果ハドンナ風ニナツテ居リマスカ、御分リニナル所ダケデ宜シウゴザイマスカラ、御説明願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○松村政府委員 只今手許ニハ一月カラ八月マデノ調査以外ニゴザイマセヌノデ、マダ恐ラク十二月マデノ状態ハ明確ニナツテ居ラスト考ヘテ居リマスガ、一應取調ベマシテ御答致シタイト思ヒマス

尙ホ餘事デアリマスガ、先程國民所得ノコトニ付テ御質疑ガアリマシタガ、國民所得ノコトハ、昭和五年ノ國勢調査ニ發表シタモノガ百六億デアリマシテ、是レ以外ニ責任ヲ以テ國家ガ出シタモノハナイノデアリマス、昭和十年ノ國勢調査ノ結果ハ、非公式的ニ發表サレタモノガアリマスガ、ソレハ非公式デアリマスカラ、此ノ席デ申上ゲナイ方宜イト考ヘマス、非公式ニ出テ居ルモノガア

ル筈デアリマス、其ノ外ノ國民所得ノ調査ニ付キマシテハ、比較的信憑ニ足ルモノハ三菱研究所デ年々出シテ居リマス、モウ一ツハ土方博士ガ著書ノ中ニ時々出シテ居リマス、是ハ御承知ト思ヒマスガ、國民所得ハ最近デハ百六七十億、外地ヲ合セテ百九十億位ドラウナドト云フ推定ヲ致シテ居リマス、三菱研究所ノ調査デハ、昭和十二年ハ百六七十億位ト推定致シテ居リマスガ、何レモ是ハ民間ノ調査デアリマスノデ、政府ガ責任ヲ以テ發表シ得ルモノハ、昭和五年ノ國勢調査以後ニハマダ明確ナル發表ハナイト記憶致シテ居リマス

○宇賀委員 私モ大體ニ於テソシナ風ニウロ覺エノ記憶シカゴザイマセスケレドモ、苟モ八九十億ニ互ル所ノ公債ヲ募集シナケレバナラス、公債應募ト云フモノハ必ズシモ個人バカリデヤナク、法人其ノ他ニ付テモ大イニアルデアリマス、併シ何ト云ツテモヤハリ國民所得ト云フモノハ、結局ハ國債應募ノ中樞資源ト云フカ、重要ナ所ノ資源ニナルノデアルカラ、之ヲモウ少シ大規模ニ急激ニ調査スルヤウナ企テハ、大藏省ニゴザイマセヌデセウカ

○松村政府委員 御承知ノ通り國勢調査ハ五年ニ一遍アリマスガ、昭和十年ノ結果サ

ヘマダ非公式ノ程度ニシカ出來上ツテ居リマセヌノデ、若シ國民所得ヲ公債募集其ノ他ノ必要ノ爲ニヤリマスル時ニハ、新タニ豫算ヲ組ミ、新タナル制度ヲ設ケテヤラナケレバナリマセヌノデ、只今ノ所デハ大藏省デハソコマデ突進シテ考ヘナイト存ジテ居リマス、併シ是ハ非常ニ必要ナコトデアリマスノデ、尙ホ一應研究ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ餘事デアリマスルガ、勿論公債ノ發行ノ限度ハ、原則ト致シマシテハ國民所得ヲ基礎トシテ考ヘラルベキコトデアリマスルガ、歐洲大戰當時ナドニ於キマシテハ、是ハ各國トモ國民所得ヲ越エテ、國民ノ富ニ切込シテ、各國トモ非常ナ公債ヲ募集シテ居ル事實ハ申上グルマデモナイコトデアリマス、併シ只今御話ノ通り、國民所得ヲ明ニスルコトハ、總テノ點デ必要デアリマスノデ、モウ一應調査ヲ進メタイト考ヘテ居リマス、的確ニハ御答申上ガ兼ネマス

○宇賀委員 國勢調査ノ結果ヲ俟ツノモ一ツノ策カモ知レマセスケレドモ、今言フ通り昭和十年ノ調査ノ結果ガ、今ニナツテモ外部ニ發表スルコトガ出來ナイ、「ラウンド・ナンバー」ノ程度シカ發表スルコトガ出來ナイト云フヤウナモノヲ、此ノ際ノンペン

ガラリト待ツテ居ルコトハ出來ナイカラ、大藏省ハ費用ガ掛ツテモ——費用ハ御手ノモノダカラ、何トカ豫算ノ融通ヲ付ケテ、先程國民貯蓄獎勵局デ調査シタ此ノ調査ミタイナモノヲ、モウ少シ早く發表スルヤウニ私ハ御願シテ置キマス、ドウ斯ウシヨウト云フ差出ガマシイコトハ申述べマセヌ、ソレカラ私ハ斯ウ云フヤウナ今日ノ公債ノ狀態ニナツテ居リマスルト、成程今マデハ割合ニ順調ニ行キマシテ、洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デ、オ互國家ノ爲ニ祝福シナケレバナラヌノハ當然デアリマスガ、併シナガラ一體今後ドウナルドラウカト云フコトヲ私考ヘテ見マス、大藏省ノオ方モ肚ノ中デハ、此ノ際相當御憂慮ナサツテ居ルコトデアラウト思ハレマスガ、外部ニ發表スル所ヲ見マス、可ナリ御樂觀ノヤウニ思ハレマス、此ノ間豫算總會デナタノ御質問デシタカ、終ヒニハ或ハ強制保有ト云フヤウナコトニモナリハセヌカト云フコトヲ御心配シテ聽カレマシテ、大藏大臣ハ、サウ云フコトハ絕對ニナイト云フコトヲ仰シヤイマシタ、私モ亦サウ云フコトガ絕對ニナイトトヲ希望致シマスルガ、唯併シナガラ絕對ニナイトカ、チツトモ心配ハ要ラナイトカ云フダケデハ、此ノ大キナ數ヲ眺メテ見ル

ト、ドウモ私共ノヤウナ臆病ナ者ニハ不安ニ堪ヘナイノデス、モウ少シ何カ數字ノ上カラ、公債ノ發行ハ八十億ナリ百億ナリ敬テ憂フルニ足リナイト云フコトヲ——此ノ前慥カ賀屋前大藏大臣ダツタカ、公債ノ二百億ハ何デモナイ、多々益々辨ズルト云フヤウナコトヲ言ヒマシタガ、是モ人心ガ非常ニ萎靡シテ居ル際ニサウ云フコトヲ言フナラバ、或ハ宜イカト思ヒマスガ、私ハ今公債ノ賣行キガ比較的宜イト云フ此ノ時ヲ取擱ヘテ、サウシテ將來ノコトヲ聽イテ居ルノデアリマスカラ、今少シク吾々ガ安心スルヤウナコトヲ、一ツ御得意ノ大藏省一流ノ數字ニ基イテ何カ御話ニナルコトハ出來ナイデセウカ、幸ヒ大藏大臣ガオ出デニナリマシタカラ、其ノ點ヲ御伺致スノデアリマス

○石渡國務大臣 公債ノ發行額ガ多額ニ相成ツテ來ルト云フコトニ依ツテ、是ガ消化ニ付テ將來如何相成ルデアラウカ、斯ウ云フ御尋デアルト思フノデアリマス、是ハ御承知ノ通り明治ノ初メカラ致シマシテ、約六十五年間ニ積ツタ國債ノ總額ガ約六十億、ソレカラ約六七年ノ間ニ六十億、此ノ頃ハ一年ニ四十億モ、五十億モ、六十億モト、斯ウナツテ居リマスカラ、果シテ此ノ

公債ガドウ消化シテ行クデアラウカト云フ
コトニ付テ、一般ニ懸念致サレテ居ツタコ
トハ尤デアルト思フデアリマス、昨年一
箇年ニ發行致シマシタ公債ノ發行高モ四十
五億圓ト云フコトデアリマシテ、洵ニ其ノ
前年又其ノ前々年ト比ベマス、三倍ニモ
四倍ニモ相成ツテ居ルヤウナ公債ヲ發行
シテ居ルデアリマスガ、此ノ公債ノ發行
行ガ今日マデ比較的順調ニ——比較的ト申
シマスヨリモ、或ハモット強イ言葉ヲ用ヒ
タ方ガ宜イカモ分リマセヌガ、極メテ順調
ニ消化サレテ行ツテ居リマスコトハ、是ハ
御承知ノ通りデアルト思フデアリマス、
其ノ金ガ一體何處カラ出テ來ルカト云フ
コトハ、是ハ一面ニ於テ政府ノ資金ノ
撒布ガ行ハレルデアリマスカラ、政
府資金ノ撒布ト云フコトガヤハリ公債ノ消
化サレル一大原因ヲ成シテ居ルコトハ、是
ハ疑ハゴザイマセヌ、一昨年ノ七月ノ初メ
此ノ事變ガ起リマシテ、マダ資金ノ撒布サ
レナイ當時ニ於キマシテハ、一億圓ノ公債
ノ消化ニモ相當骨ガ折レタバカリデナク、
其ノ中ノ幾分ト云フモノハ、日本銀行デ寧
ロ之ヲ擔保ニ金ヲ貸シタ、斯ウ云フヤウナ
狀況デアツタノデアリマスガ、政府資金ノ
撒布ト同時ニ、斯ウ云フヤウナ現象ガ漸次

解消シテ來マシテ、一箇月ニ三億圓ナリ四
億圓ノ公債ノ發行ト云フモノガ、完全ニ消化
サレテ行クト云フヤウナ狀態ニ立至ツタノ
デアリマス、結局金ガ一體何處カラ出テ來
ルカ、金ハ一面ニ於テハ政府ニ於テ資金ヲ
撒布スル、其ノ撒布シタ金ガ廻リ廻ツテ公
債ノ應募ト云フコトニナツテ還ツテ來ル、
此ノ循環シテ公債ヲ消化スルト云フコトデ、
今日マデ引續イテ來テ居ルデアリマス、
此ノ様子デ見マスルト、是ハ幾ラデモト云
フ譯ニハ到底行キマセヌ、ソレハ一方ニ於
テハ國力、國ノ經濟力ニ依ツテ制限ヲ受ケ
ルト云フ點ハ無論アルトハ存ジマスガ、一
方ニ於テ政府資金ノ撒布ガ行ハレルト共
ニ、其ノ金ガ又國債ノ消化ニ依ツテ戻ツテ
來ル、斯ウ云フ行キ方デ、此ノ車ガ一昨年
ノ十一月、十二月アタリカラ至極順調ニ回
轉致シテ居リマス、最初此ノ車ガ、詰リ
其ノ前年、前々年ト比較致シテ、三倍モ四
倍モノ大キナ車ガ廻ルカ廻ラヌカト云フコ
トニ付テ、懸念致シタ向キモアツタノデア
リマスガ、其ノ三倍モ四倍モノ大キナ車ガ
廻リ出シテ見ルト、非常ニ順調ニ回轉シテ
國債ガ消化サレテ居ル、斯ウ云フコトニナ
ツテ居リマス、國債ノ消化ニ付テハ、戰時
公債ノ消化ニ付テハ色々御議論モアリマセ

ウ、大戰時中獨逸邊リデヤリマシタノハ、主
トシテ最初ニ大藏證券ヲ發行シテ、其ノ大
藏證券ノヤウナ短期證券ヲ一年ニ二回、
ソレヲ長期ノ國債ニ纏メテ行ツタ、是ハ主
トシテ國ノ負擔、債務ト云フコトヲ考ヘテ
ヤツタコトデアラウト思フデアリマスガ、
今日デモ此ノ行キ方デ行ツタラドウカト云
フ者モゴザイマス、併シナガラ今日ノ場合、
斯ウ云フヤウナ國債消化ノ仕方ト云フモノ
ハ、其ノ當時ノ獨逸ノ行キ方ニ對シテモ餘
リ感心致シマセヌ、結局一時ニ多額ノ公債
ガ發行サレル、七十億馬克トカ八十億馬克
ト云フヤウナ國債ガ一時ニ多額ニ發行サレ
ルデアリマスカラ、其ノ場合ニ行ツテ行
詰リヲ生ジテ來タヤウナ結果ニ相成ツテ居
ルデアリマス、戰時中ハサウ大シタ「イン
フレーション」モ起サナカツタノデアリマ
スガ、ヤハリ是ガ戰後ニ於ケル「インフ
レーション」ノ一ツノ原因ニ相成ツテ居ルカ
ト思フデアリマス、今日ニ於ケル國債ノ
回轉、循環ニ依ル所ノ國債發行ノ仕方ト云
フモノハ、ヤハリ今日一面ニ於テ多額ノ政
府資金ヲ撒布シテ居ル場合ノ公債ノ發行消
化ト云フコトニ於テハ、先ヅ今日考ヘラレ
ル所ノ行キ方トシテハ、最も良キ行キ方デ
ハアルマイカト思ツテ居リマス、四十五億

ノ公債ヲ發行シ、其ノ中ノ大部分ノ公債ガ
消化サレタト云フコトニ付テモ、何等強制
的ノ手段ハ講ジテ居リマセヌ、是ハヤハリ
國民協力シマシテ、此ノ際ノ戰時財政ニ協
力スルト云フコトデ、國民ガ消費ヲ節約シ
マシテ國債ニ應募シタ結果デアルト思フノ
デアリマス、私モ決シテ將來ヲサウ樂觀致
シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、是ハ政府ダ
ケデハ決シテ此ノ多額ノ公債ヲ消化シテ行
クト云フ譯ニハ到底イカヌデアリマスノ
デ、ドウシテモ國民ガ一致協力シマシテ、
消費ヲ節約シテ金ヲ貯メテ、サウシテ國債
ノ財源ヲ作ル、此ノ事ニ專念致シマス限リ
ニ於キマシテハ、私ハ國債ノ消化ト云フモ
ノヲ決シテ悲觀ハ致シマセヌガ、私ハ先般
モ強制國債ハ此ノ際ニ於テハ考ヘテ居ラス
ト、斯ウ申シタノデゴザイマシテ、國債ノ
消化ガ行詰ツテ來ル、國債ガ賣レナクナツ
テ、札ダケガ市中ニ流通シテ來ル、ソレガ
一向回收シテ來ナイ、札ダケガ世ノ中ニ轉々
シテ來ルデアリマスカラバ、是ハ洵ニ惡性
「インフレ」ノ兆候デモアリ、又惡性「イン
フレ」ニ移ル階段デモゴザイマシテ、容易
デナイ問題デゴザイマス、隨テ國債ガ消化
シテ來ナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、是
ハ餘程各種ノ手段ヲ講ジナケレバイカヌカ

ト思フノデアリマス、強制公債ト云フコトガ、果シテ善イカ惡イカト云フコトニ付テハ、ソレハ疑問ガゴザイマス、是ハ一面ニ於テハ今度ハ賣ラセナイト云フコトヲ考ヘナケ

心配ハ要ラス、心配シテ居ナイ譯デハゴザイマセヌガ、大シテ心配ハ要ラス、國民ガ一致協力シテ消化シテ行クモノダ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○宇賀委員 私ハ先程大藏大臣ノ不在ノ内ニ、昭和六年以降ニ於ケル各年度末ノ國債所

レバイケマスマイ、強制的ニ公債ヲ持タシタ所デ、賣ツテシマツテハ仕方ガゴザイマセヌカラ、是ハ賣ラナイ方法ヲ講ジナケレバナラス、サウスルト公債ト云フモノハ一

有者調ト云フ、アナタノ方カラ戴イタ表ニ付テ御伺致シタノデアリマス、餘リ古イコトハ申シマセヌガ、八年ノ當時、七十億

種ノ不融通物ノヤウニ相成ツテ來ルノデゴザイマシテ、持ツコトライヤガルデアラウト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカ

カ八十億シカ公債ガナイ時、十二年度末ニハ百十何億、十三年度ノ六月末ニハ百三十

ラ、ドウシマシテモ是ハ國民ガ愛國心カラ進ンデ國債ニ應募スル、斯ウ云フ方式デ行クコトガ、最モ多額ニ國債ヲ消化シテ行ク

七億マデ公債ガ出テ居リマスガ、其ノ額ヲ見マシテモ、勿論是ハ各國ノ金融機構、國民

途デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ際トシテハ私ハ何處マデモ其ノ方式デ進ンデ行キタイ、斯ウ存ジテ居ルノデゴザイ

性其ノ他ニ基イテ、必ズシモドウデナケレバナラスト云フ、一定ノ原則ガアル譯デハ

マス、併シ是ハ今モ申上ガマシタ通り、政府デ決意致シマシタ所デ、政府ノ決意ダケデハ迎モ及ビマセヌ、是ハ國民一般ニ消費

ナカラウト私ハ思ヒマスケレドモ、一番終ヒニアル所ノ其ノ他ト云フノハ、恐ラクハ

ヲ節約シテ貯蓄ヲシ、サウシテ其ノ金ガ國債ノ消化ニ向ツテ來ル、斯ウ云フコトニ依

是ハ民間ノ個人ノ所有ガ大部分ヲ占メテ居ルダラウト思ヒマスガ、ソレガ殆ド八年末

ツテ國債ガ消化サレテ行クモノデアルト私ハ存ジテ居ル次第デゴザイマシテ、此ノ際

カラ十二年末マデ釘付ニサレタ——ト言ツテハ少シ語弊ガアリマスガ、稍、釘付ニサレ

今日ノ狀況カラ考ヘマシレバ、私ハサシタ

トニナルナラバ、結局其ノ落著ク所ハ、ヤハリ個人ノ所有ガモツトズツト大ギナ數字ヲ示サナケレバナラスヤウニナルト思フノ

デアリマスガ、今ノヤウニ唯金融機構ニダケ一時持タセルト云フコトハ、是ハ一時的ノ對策トシテハ宜イカモ知レヌケレドモ、

ジマス、但シ今日ノ場合ニ於キマシテ國債ヲ持ツト云フコトハ、是ハヤハリ國民ノ一ツノ習慣デアリマシテ、之ヲ習慣付

○石渡國務大臣 是ハ洵ニ御尤デゴザイマシテ、國民ニ公債ヲ餘計ニ持ツテ貰フト云フコトハ、此ノ際又今後ニ於テモ是非トモ必

要ナコトデアルト存ジマス、此ノ方面ニ付キマシテ國債ノ普及、ソレカラ一般ニ國債ヲ持

先達テ本會議ニ於テモ申上ガタ次第デゴザイマス、其ノ方ニ向ツテ更ニ一段ノ研究ヲ

今後ニ於キマシテモ一般民間ニ、一般大衆ニ公債ヲ持ツテ貰フト云フ方向ニハ進ミタ

進メマシテ、國民一般ニ國債ヲ持ツテ貰フト云フヤウナ方向ニ進メタイト存ジテ居

○宇賀委員 私今度ハ一ツ公債ノ償還ト云フコトニ付テ、取府ハドウ云フ御考ヲ持ツ

仰シヤツタ政府資金ヲ撒布シテ、ソレヲ吸

テ居ルカ、ソレヲ一ツ伺ツテ見タイト思フ

ノデアリマス、只今大藏省カラ戴イタ表ヲ見マスルト、昭和十三年十二月末ニハ百四十九億ノ内國債ガゴザイマス、其ノ内三分五厘ノモノハ八十五億何ガシ、ソレカラソレ以外ノモノ、四分ノ公債ハ三十四億、四分五厘ガ七億一千、ソレカラ五分ノモノハ二十二億六千何ガシ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、私ハ實ハ今カラ數年前馬場サンガ公債借換ヲサツタ時ニ、一氣呵成ニアトノ分モ全部——三分五厘ガ九十八圓デ發行シ得ラレル狀態ノ今日ニ、何モ好ンデソレ以上ノ利息ヲ拂ツテ、高イ公債ヲ態、放ツテ置クヤウナコトハナイガラウカラ、急速ニ是ハ借換ニナルモノト期待シテ居リマシタ所ガ、今日マデ之ヲ寄セマスト六十億近クニナルデアリマスガ、此ノ公債ヲサツパリ借換ヘナイ、勿論中ニハマダ借換ノ据置期間ノ來ナイヤウナモノガアルカモ知レヌヤウデアリマスガ、多クハ据置期間ヲ過ギテ居ルモノガ多分ヲ占メテ居ルヤウニ思ハレマス、サウシテ先行キ段々ト返サナケレバナラヌ時期ガ迫ツテ來ル、サウ云フヤウナコトヲ考ヘテ見テ、五分ノ公債ナドハ大體年ニ依ツテ價格ハ違ヒマスガ、百四圓トカ百三圓トカ云フ「プレミアム」ガ附イテ居ルノデアリマス、隨テ四分ノモノモ

ヤハリ百二圓何ガシト云フ「プレミアム」ガ附イテ居テ、ソレデ片方三分五厘ノ公債ガ九十八圓デドン、新シク發行サレルニモ拘ラズ、何故斯ウ云フモノヲ虎ノ子ノヤウニ大事ニシテ借換ヘズニシマツテ置キマスカ、私ハ一年ニ國家ガドノ位此ノ利子ヲ損シテ居ルカ自ラ計算シテ見マシタガ、頭ガ惡イカラ計算ガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、大體三分五厘ノ公債ヲ九十八圓デ發行スルナラバ、三分六厘五毛位ニナルダラウト思ヒマスガ、ソレト四分ノ公債トノ差額、四分五厘トノ差額、五分トノ差額トラ出シテ各、乗ケ合セテ見ルト、一年四千八百萬圓トナル、即チ若シ借換ヘルナラバ、ソレダケ國費ヲ節約シ得ラレルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、數字ガ違ツテ居ルト何ニモナリマセヌカラ、先ヅ大體其ノ「ラウンド・ナンバ」ガ當ツテ居ルカドウカ、大藏當局カラ御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 是ダケ國債ヲ發行スル際ニ、五分利公債ナドハ既ニ借換ヘラレテ然ルベキデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアルト存ジマス、是ハ御尤ナ御考デゴザイマシテ、大藏省トシマシテモ、五分利公債ノ問題ニ付テハ大分考ヘタコトモゴザイマスシ、又考ヘテモ居リマス、併シ御承知ノ通

リ今日ノ場合ハ一方ニ於テ三分半利國債ヲ多額ニ出シテ居ル際デアリマスノデ、萬ガ一此ノ五分利公債ヲ借換ヘルトシテ、今日ノ所ニ於テハ五分利公債ト云フモノハ、サウ大キナ問題デハゴザイマセヌ、寧ロ先程カラ御尋ノアリマシタ今後多額ニ發行サレテ行ク所ノ三分半利公債ヲ、ドウ云フ風ニ是ガ消化ニ努メテ行クカト云フコトガ、實ハ大キナ問題デアリマシテ、五分利公債ノ總額ハ、今日ニ於テハ三分半利國債ノ三箇月ナリ四箇月分ノ額ニシカ相成ツテ居ラヌノデアツテ、今日ニ於テハ比較的小サイ問題デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ是ハ決シテ忽諸ニ附シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、一方今後發行サレテ行キマス國債ノ發行ニ差障リガナイ、戰時財政ニ於テ其ノ財政ノ中樞ヲ成ス所ノ國債ノ發行ト云フコトニ差障リガナイト云フ見極メガアリマシタ場合ニ於テハ、決シテ借換ヘナイトハ申シマセヌ、サウ云フ必要モアルカト存ジマスガ、今日此ノ問題ヲサウ大キナ問題トシテ實ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレニ今色々數字ヲ擧ゲテノ御話モゴザイマシタガ、實ハ五分利公債ノ半分ハ、假ニ二十億アルトシテ、十億ハ預金部デ持ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ、結局借換ノ利子

ガ減ルト云フコトハ、預金部ノ利子收入ガ減ルト云フコトニナルノデ、ソレヲ考ヘマスト、又此ノ問題ノ重要性ト云フコトガ更ニ感ゼラレルノデゴザイマス、其ノ外ニ此ノ五分利公債ヲ各種ノ公共團體、公債組合、財團法人ナドニ於テ相當多額ニ持ツテ居リマスノデ、實ハ準財團ト申シマスカ、——會社、個人等ノ手ニアルモノハ、比較的少イノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ御趣旨ハ御尤ナ所モアリマス、此ノ問題ハ決シテ忽諸ニ附シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、左様御承知願ヒマス

○板谷委員長 宇賀サンニ御相談申上ゲタイノデスガ、豫算分科會デ大藏大臣ノ御出席ヲ一時間以上モ待ツテ居ルサウデアリマス、ソレデ私ガ政府ニ警告致シマシタル通り、勿論豫算委員會モ大切デハアリマスケレドモ、此ノ委員會モ公債發行ト云フ重大案件ガ付託サレテ居ルノデアリマスカラ、大體公債ニ關スル直接ノ論議ハ、實ハ此ノ委員會デヤツテ貰ヒタイ、ケレドモ今申上ゲマスルヤウニ、豫算分科會モ日ガ限ツテアルコトデアリマスカラ、其ノ方ニ大臣ノオ出デニナルコトヲ御譲リヲ願ヒタイト思ヒマス

○宇賀委員 承知致シマシタ

○板谷委員長 他ニ政府委員ノ方ニ御質問

ガアリマシタナラバ、ドウゾ續ケテ戴キタ
イト思ヒマス

○宇賀委員 ソレデハ今ノ問題ヲモウ少シ
續ケテ伺ヒタイト思ヒマス、成程一箇年四
千八百萬圓ヤ五千萬圓ノ支出ナドハ、一般
行政費三十何億圓ト云フ此ノ際デアルカラ
如何ニモ小サイ問題カモ知レマセヌケレド
モ、是ハ今差迫ツタ問題デハナクシテ、隨
分長イ間馬場サンガ借換ヲシテ後放ツテ置
イタノデアリマスカラ、其ノ間モウ何年カ
經ツテ居ル、サウスルト可ナリ大キナ國家
ノ損失ノヤウニ思ハレテナラヌデアリマ
スガ、今承リマス、之ヲ借換ヘル爲ニ三
分五厘ノ方ノ新規募集ニ影響ガアツテハ困
ルト云フヤウナコトデアリマスルガ、今ノ
ヤウナ方法デ日本銀行ニ持タシテヤルナラ
バ、私ハ三分五厘ノ公債發行ニ大シテエライ
影響ハナイト思フデアリマス、且又五分
利公債二十二億幾ラノ中ノ半數ハ預金部ニ
於テ持ツテ居ル、サウスルト預金部ノ收入
ガ減ルカラナドト云フ、コンナ筈ナ議論
ハ、苟モ大藏大臣ノロカラ此ノ席ニ於テ聽
クベキ議論デハナイト實ハ思ツテ居タ、サ
ウスルト預金部總體トシテノ計算ガマヅク
行クカラトカ、或ハ今貸腐レガアルノデ、
ソレヲ埋合セナケレバナラヌカラ高い利息

ノモノヲ何時マデモ握ツテ居ルト云フヤウ
ナ利己主義ノ議論ハ、今日ヤルベキ時代デ
ハナイト思ツテ居ルノデアリマスガ、サウ
云フコトハ是ハ皆サンノ御判斷ヲ願ツテ、
大藏省ノ答辯ハ求メマセヌケレドモ、私ハ
大藏當局トシテハ、今日マデ放ツテ置イテ、
之ニ便乗シテ、其ノ二十二億ノ半分ト云
フモノハヤハリ民間ニアル、其ノモノハビ
クビクシテ、或時ハ百一圓ニナツタリ、或
時ハ百四圓ニナツタリスル、借換ヘラレル
カモ知レヌト云フコトニナルト百一圓ニナ
リ、又ナニ當分ハ借換ヘラレサウモナイト
云フコトニナルト百四圓ニナルト云フ風デ、
可ナリ幅ガ大キク動イテ居ル、サウ云フヤ
ウナコトハ却テ國債ノ信用ヲ維持スル所以
デハナイダラウト思フ、恐ラクハ此ノ問題
ニ引掛ケテ、今度法律案ニ出マシタ兌換銀
行券整理法ノ改正案モ、ヤハリ是ト同ジヤ
ウナ御考カラ出テ居ルノダラウト思フ、是
ハ大藏大臣ガ此ノ前兌換銀行券整理法中改
正ノ件ヲ説明シテ居ルヤウニ、幾ラノオ金
ガ浮イテ來ルノカ知リマセヌガ、此ノ豫算
ノ書類ヲ見マス、四千七十一萬八千四百
四十九圓ト云フモノガ、此ノ豫算ノ方ニ組
ンデアリマスルガ、是ハ今後第四條ヲ削ツ
タ結果此ノ收入ニナルベキ金デゴザイマセ

ウカ、ソレヲ先ヅ一應伺ヒマス
○松隈政府委員 只今ノ御尋デゴザイマス
ガ、兌換銀行券整理法ノ改正ニ依リマシテ、
政府ガ昭和十四年度ニ收入致シマスル金額
ハ約四千萬圓デアリマス、兌換銀行券整理
法ニ依リマシテ、赤字本年ノ四月以降ハ舊
イ兌換銀行券ノ民間ノ強制通用ハ停止致シ
マスルケレドモ、政府ニ對シマスル支拂及
ビ日本銀行ニ於テノ引換ハ、今後ニ於テモ
行ハレマスルノデ、四千萬圓何ガシノ金ガ
マル、政府ノ得ニナルノデハゴザイマセ
ヌ、今後今申上ゲマシタヤウナ方法ニ依リ
マシテ引換ヘラレマスル金額ハ、約一千万
圓ト見込シテ居リマスルノデ、其ノ引換ガ終
リマシタ後ニ於キマスル政府ノ純利益トデ
モ申シマスルモノハ、約三千万圓位カト思
ツテ居リマス、尙ホ引換ト云フコトハ一遍
ニアルモノデハゴザイマセヌノデ、昭和十
四年度ニ於テハドノ位ノ引換ニナルカト云
フ見込ハ、從來ノ引換ノ實績カラ推定致シ
マシテ、約二百万圓ト見込シテ、是ガ昭和
十四年度ノ一般會計ノ歳出豫算ニ計上シテ
ゴザイマスガ、尙ホソレハ見込デゴザイマ
シテ、或ハソレ以上ニ引換ニ參ルカモ知レ
マセヌガ、此ノ分ニ付キマシテハ右ニ述ベ
マシタ經費ヲ補充費途ト致シマシテ、ソレ

以上ノ引換ガゴザイマスレバ、第一豫備金
カラ更ニ支出ガ出來ルヤウナ方法ヲ講ジテ
居リマス
○宇賀委員 私ハ此ノ金ナンゾモ、兌換券
條例ノ四條ヲ削ルナント云フ、ソナ法律
ヲ改正スルヤウナ荒ツポイ仕事ヲセズニ、
ヤハリ此ノ三千万圓ナリ四千万圓ナリノ浮
イタ金デ——チヤント國家ガ法律ヲ作ツテ
國債償還ノ爲ニ繰入レルト云フ約束ヲシタ
ノダカラ、是ハヤハリ表ノ通り國債償還ニ
繰入レテ、サウシテ今ノ五分利ナリ何ナリ
ノ最モ高イ所ノ公債ヲ返シタ方ガ宜イノデ
ヤナイカト思フ、ソレモ恐ラクハ大藏省ノ
御考トシテハ、タツタ四千万圓ダカラ、ソ
ンナ手數ナコトヲヤラズニ、之ヲ一ツ一般
歳入ニ戴イテ置カウト云フヤウナ御考デ、
此ノ法案ヲ御出シニナツタヤウニ思ハレマ
スルガ、是ハ如何デゴザイマセウカ
○松村政府委員 今ノ四千万圓内外デアリ
マスルカラ、原則トシテ一般歳入ニ繰入レ
テ、サウシテソレヲ整理スル方ガ簡明直截
デアリ、左様ナモノヲ一々減債基金ニ繰入
レルト云フコトニシマスルト、又ドウ云フ
原則デ減債基金ノ方法ヲ講ズルカト云フヤ
ウナ、原則論ニモ立至リマスルノデ、此ノ
際ハ簡明直截ニ一般ノ方ニ之ヲ繰入レテ整

理シタ次第デアリマス

○宇賀委員 私ハ簡明直截ナラ、此ノ儘ニ放ツテ置イテ、コンナ法律案ヲ出サナイ方ガ簡明直截ダラウト思フ、苟モ國家ガ斯ウ云フコトヲスルト云フ風ニ、法律デ約束ヲシテ置イテ、サウシテ今頃ニナツテ其ノ條文ヲ削ル——成程國家ノコトデアルカラ、法律ヲ作レバ何デモ變ヘラレルガ、寧ロ簡易直截デハツキリシテ居ルト云フナラバ、放ツテ置イテ、サウシテ此ノ金ヲヤハリ國債償還ニ充テテ、唯五分利公債ヲ是デ買上ゲレバ宜イノデス、ソレデナケレバ期限ノ來タモノヲ返シテヤレバ宜イ、此ノ位簡明直截ナ簡單ナ手續ハ恐ラクハナイダラウト思フ、政務次官ハ斯ウ云フコトヲアル方ガ簡明ダト仰シヤルナラバ、ドウ云フ點ガ簡明デアルカ、モウ少シ御説明ヲ願ヒタイ

○入間野政府委員 便宜上私カラ政務次官ノ御答辯ヲ補足シテ申上ゲタイト思ヒマス、今回兌換銀行券整理法ヲ改正致シマシテ、國債整理基金ニ繰入レベキヤウニ規定シテ居リマシタノヲ廢止致シマシタ、ト申シマスルノハ昭和二年當時ニ於ケル國債ノ狀況ト、今日ニ於ケル國債ノ狀況トガ非常ニ違フ點ガ、其ノ主タル原因ヲナシテ居リマス、即チ御承知ノ通り昭和二年三月末ニ

ハ、我國ノ國債ノ現在高ハ五十億餘リノモノデゴザイマシタ、昨年末ニ於キマシテハ、百六十億餘リノ現在高ヲ持ツテ居リマス、又公債發行額カラ見マシテモ、昭和二年度ニ於キマシテハ、發行豫定額ガ一般會計、特別會計ヲ通ジマシテ、僅ニ一億五千萬圓程度デ済ンデ居リマシタガ、昭和十三年度ニ於キマシテハ、發行豫定額ガ五十六億圓以上ヲ算シテ居ルヤウナ現狀デアリマス、政府當局ト致シマシテハ、此ノ際如何ニシテ巨額ニ發行スル公債ヲ消化スルカ、此ノ點ニ常ニ腐心致シテ居リマスルヤウナ次第デアリマスルノデ、此ノ際既發ノ公債ヲ減ラスヨリモ、寧ロ新シク出スベキ公債ヲ幾ラカデモ少クシタ方ガ宜イデヤナイカ、斯ウ考ヘマシテ、此ノ法律ヲ改正致シタヤウナ次第デゴザイマス

○宇賀委員 能ク分リマシタ、併シナガラ僅カダカラ面倒臭イト云フヤウナ頭デオヤリニナルナラバ、前ノ公債ノ借換ヤナンカモ同ジヤウナコトナリハシナイカト思フ、私ハソレデ實ハ質問シタノデスガ、成程今仰シヤルナラバ、ドウセ五十億、六十億ト、公債ヲドン——發行シテ居ルノデアルカラ、ソレヲ一部返スヨリカモ返サズニ置クト云フコトモ、是モ一ツノ政策ダラウト思ヒマス、併シナガラ公債ガ斯ウ云フ風ニ飛躍的ニ増加シテ行クト云フヤウナ今日ノ狀態デ、募集ニ全力ヲ注ガナケレバナラヌカラ、返ス方ノコトニ付テハ餘リ考ヘテモ居ラレナイト云フヤウナ風ニモ取レル、私別ニサウ取リタクハナイノダケレドモ、併シナガラヤハリ苟モ國家ガ借リル以上ハ返サナケレバナラスト云フコトハ、モウ分リ切ツタ話デ、借リル豫定ヲ立テルト同時ニ、ソレノ一年間ノ利拂ハ何程デアルト云フノデ、國債費ノ方ニヤハリ豫算ニ組入レテ考ヘテ居ルノデアルカラ、寧ロ此ノ際ハ借リル方モ御考ニナルコトハ當然ダケレドモ、同時ニ返スコトモ考ヘルノガ、本當ノ國家ノ財政ダト私ハ考ヘルデアリマスルガ、如何デセウ、借リル方ダケ夢中ニナツテ、返ス方ハ二ノ次デモ宜イト云フヤウナコトヲ御考ニナルノデヤナカラウカト私ハ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デセウ

○松村政府委員 此ノ問題ハ昨日モ大臣カラ御質疑ガアツテ御答シタノデアリマスガ、償還ノ方法ニ付キマシテハ、勿論國家ハ十分考慮シナケレバナラストハ言フヲ俟タスノデアリマスルガ、支那事變後公債ノ發行狀態ガ豫測シ得ザル狀態ニアリマスルノデ、今後モ此ノ事變ノ推移ニ依リマシテハ、ド

ノ位公債ガ出ルカト云フコトハ中々豫知シ得ナイ、隨テ其ノ償還方法モ、的確ナル償還方法ヲ茲ニ立デテモ、萬々一ソレガ實施出來ナイト云フコトニナリマシテハ、却テ國家ノ信用ノ問題ニモ關係致シマスルノデ、大體公債ノ發行ノ見透シヲ付ケテ、其ノ推移ヲ見ル、サウシテ償還方法ハ改メテ茲ニ考慮スルコトガ手順ダト考ヘマスノデ、償還方法ニ付キマシテハ、從來アリマスル減債基金ノ外ニハ、特ニ償還方法ニ付キマシテ具體的ノ案ガマダ出來テ居リマセスガ、併シ是ハ何處マデモ償還ヲ忘レテ居ルノデハナイ、又忘レテハナラヌ、適當ナ機會ニ根本對策ヲ講ズベキデアラウトハ考ヘテ居リマスノデ、一應御答ヲ申上ゲテ置キマス

○宇賀委員 能ク分リマシタ、今年ノ豫算ニ七億圓ノ國債費ハ計上サレテ居リマスガ、其ノ中現金デ返スト云フヤウナ金ハ幾ラ位入ツテ居リマスガ

○松村政府委員 只今取調ベテ申上ゲマス、其ノ間ニ……

○宇賀委員 私ハ「ラウンド・ナンバー」デ宜イノデアリマス、左様ナ細カイコトデナク、一億トカ、二億トカ、三億トカ、サウ云フ數字デ宜イノデス

○松村政府委員 其ノ間ニ——先程後刻取

調ベテト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、
先程御示ノ通りニ、公債ノ發行豫定額ハ二
十七億五千万圓ト云フコトデアリマシタガ、
大體其ノ數字デト私申上ゲマシタガ、細カ
イ數字ヲ申上ゲマス、二十七億六千二百
万デアリマス、大體先程申シタ數字ト大差
ナイト云フコトヲ、茲ニ明確ニ御答辯申上
ゲマス、尙ホ只今申上ゲマシタノハ僅カノ
違デアリマスルカラ、大差ナイト云フコト
デ其ノ點ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス
○宇賀委員 ドウモ有難ウゴザイマシタ、
私ハ是デ終リマス

○板谷委員長 次ノ順位ハ田中源三郎君デ
アリマスケレドモ、大臣ノ出席マデ保留ス
ルト云フ話デアリマス、其ノ次ハ松田正一
君デアリマスガ、政府委員ニ若シ御質問ガ
アリマシタナラバ此ノ際如何デスカ

○松田委員 ドウモ半端ナ時間デスカラ、
今日ハ是デ止メテ……

○板谷委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
次會ハ明後六日午前十時開會致シマス
午前十一時四十二分散會